

家政学分野の参照基準（片山のメモ）

1. 家政学の定義（A4用紙、40字×40行、1～2枚程度）

(1) 家政学の定義

日本家政学会誌 20, 30, 40, 50 周年記念誌から関連記述を抜粋した資料を添付

2. 家政学固有の特性（A4用紙、40×40行、4枚程度）

(1) 家政学に固有な視点

(2) 多様なアプローチ

(3) 家政学の役割

(4) 他の諸科学との協働

3. 家政学を学ぶすべての学生が身に付けることを目指すべき基本的な素養

（A4用紙、40字×40行、5.5枚程度）

(1) 家政学の学びを通じて獲得すべき基本的な知識と理解

[家政学を学ぶことの本質的な意義]

[獲得すべき基本的な知識と理解]

① 知識としての家政学の基本的知識と理解

② スキルとしての家政学の基本的な知識と理解

③ 教養としての家政学の基本的知識と理解

④ 専門としての家政学の基本的な知識と理解

(2) 家政学の学びを通じて獲得すべき基本的な能力

A. 家政学に固有の能力(専門的な知識や理解を活用して、何かを行うことができる能力)

[現実的課題への対処と職業上の意義]

[. 市民生活上の意義]

[学問・社会の変化と家政学の学習]

[獲得されるであろう具体的能力]

(1) 一般的能力

(2) 専門的能力

B. ジェネリックスキル(分野に固有の知的訓練を通じて獲得することが可能な汎用的に活用可能な能力：ジェネリックスキル)

[. 知識訓練としての意義]

4. 学習方法及び学習成果の評価方法に関する基本的な考え方

（A4用紙、40字×40行、2枚程度）

(1) 学習方法

○講義

○講読

○実践教育・現場教育

○卒業研究・卒業論文・課題研究

○その他

(2) 評価方法

5. 市民性の涵養をめぐる専門教育と教養教育との関わり。

（A4用紙、40字×40行、1～2枚程度）